

認定特定非営利活動法人 **地域福祉を考える会**
Society of Study for Community Welfare (略称 SSCW)

発行：認定NPO法人 地域福祉を考える会
 発行人：理事長 端山 清
 事務局：〒259-1142
 伊勢原市田中256番地の1-301
 TEL:0463-95-6665 FAX:0463-20-9320
 メール office@tiikifukusi.com
 ホームページ http://tiikifukusi.com/



ニュースレター

寄稿 福祉の“こころ”とは・・・



斉藤進 地域政策プランナー
 (元産業能率大学教授)

わたしの仕事(専門)は「市民によるまちづくり」です。
 この「市民によるまちづくり」とは、その地域に住み、暮らす人々が主体的にまちづくりに取り組むことで、より安全に、より安心し、そして誰もが住んで良かったと思える生活環境を創ることと考えています。
 そのためには、誰もが共に考え、共に実践し、共に”幸せ”を感じるまちづくりに繋がらなければなりません。
 約30年前、私がまさに40代に入ろうとしていた頃、一人の車いす利用者が私の勤務先を訪ねてこられました。その方は、私を見るなり開口一番こう言いました。
 『あなたは、市民によるまちづくりが重要だと言っているようですが、バリアフリーのまちづくりをどう考えていますか。』と質問してきました。
 一瞬私は、何を聞かれているのかよくわかりませんでした。その頃、まちづくりの対象に体の不自由な方々への関心は大変低く、正直、私自身考えていませんでした。
 返答に困っている私の顔を見ながら、その方は、優しい目で「考えていないようでしたら、これから私と一緒に“活動”しませんか。」と語りかけてきました。
 その日以来、私は取り付かれたかのように「誰もが住みよいまちづくり」とは何かを必死に考え始めました。
 まさに、一人の人との出会いが私に新たな問題意識(「福祉の“こころ”」)を気づかせてくれたのです。
 その後、その方や市民の方々と共に1993年から伊勢原市内において「まちのバリア点検活動」を始め、バリアフリーのまちづくり改善を実践してきました。更に2008年からは「心のバリアフリー」を目指し、市内小学校において子ども達と車いす利用者との対話と交流を重視したバリアフリー体験教室を実施してきました。
 約30年に亘るこうした私の福祉のまちづくりは、まさに一人の車いす利用者との出会いから生まれたものです。
 振り返ってみると福祉の“こころ”とは、それまで気づかずにいたことに気づき行動することと確信しています。
 その気づきを教えていただいた故山口勝夫氏との出会いは、私の人生での宝となっています。



◆未来セミナー 読書会&研修会◆

第2回 「地域創生・産学連携と大学生・・・失敗しながら楽しく学ぶ・・・」
 講師 産業能率大学准教授 三浦千恵子氏



日 時：10月31日(土) 14時~16時
 場 所：シティプラザ1階ふれあいホール 定員：30名 参加費：300円
 申込み制：☎ 95-6665 (当会事務所)

学習サポートみらい・つなぐ

新型コロナウイルス感染予防に注意しながら

今年度のスタートは新型コロナウイルス感染予防対策の影響で、学習サポートは6月19日から市民活動サポートセンターにて開始いたしました。支援員も生徒たちも三密にならないように気をつけながら進めております。今、時点で登録生徒27人です。その内、中学3年は7名。支援員13名（内大学生4名）です。希望校に入学できるように支援員皆さんで支えていきたいです。



フェイスシールドと立板を使用

～生徒とかがわって～

今年の4月から学習サポートでお手伝いをさせていただいています。鈴木優太郎と申します。活動に参加してから4ヶ月が経ち、学習サポートの雰囲気にも大分慣れてきました。



教職を志望している自分にとって、とても実りのある経験をさせていただいていると日々感じます。現役の学生たちは、感染症の流行でとても不自由な学生生活を過ごしていると思います。

このような状況下だからこそしっかりとした学習環境が必要になってくるので、その環境の提供に少しでも力になれば幸いです。まだまだ未熟な身ではありますが、誠心誠意頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

鈴木優太郎（神奈川大学工学部4年）



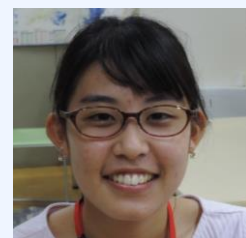
学生支援員から



私は将来教員の仕事をしたいと思います。そこで学習支援のボランティアを通して生徒との接し方を学び、自分はどこまでできるのか？の挑戦もあって参加を決めました。普段のサポートでの活動は、児童・生徒から学校の話や友達の話しを聞いています。担当した生徒からは「教えてもらってわかった」と云われその学習時間がすごく充実感を感じています。

一人一人学力も、性格もバラバラなので、日々「どうしたらやる気を出してもらえるのか」、「どう教えたらわかりやすいのか」などいろいろ考えています。

まだ始めたばかりですが、回を重ねてもっと生徒と他の支援員の人たちと関係を築けていけたらいいなと思っています。



高井 美穂（東海大学文学部4年）

◆学生支援ボランティア募集◆

小学5年生～中学3年生の学習を支援する「大学生ボランティア」を募集しています。

◇支援内容：主に英語、数学、国語
子どもたちの勉強の質問や相談にのっていただきます。

◇活動日：毎週火曜、金曜

◇時間帯：17時～20時

※連絡先：95-6665（事務所）
090-3479-4810 中台



学習サポートからのお願い



☆ご家庭・事業所等で不要な菓子・飲料水がありましたら提供お願いします。

◇連絡先◇
95-6665（事務所）





成年後見部会

コロナウイルス騒動の中での成年後見活動について

成年後見活動は被後見人への面会による身上保護が大切な活動となります。当法人では約20名の被後見人がおりますが、その多くが福祉施設で生活をしており、コロナウイルス感染対策で面会禁止となる施設も多く対応に苦慮しました。成年後見部会で実施した対策は下記の通りです。

1. 成年後見部会定例会議の中止

3月～5月の定例会議は中止としました。当法人は子供から高齢者まで様々な状況の方々への支援が中心です。被後見人や利用する施設のためだけではなく、法人全体での感染を防止するため、密接になりやすく会話が多い会議を中止しています。6月からは消毒やマスクの着用、席を離すなど感染防止対策を十分に行いながら会議を再開しました。また7月の会議では今後のリモート会議を見据えてパソコンやスマホを利用してリモート会議の試行をしています。

2. 財産管理について

財産管理についてはすでにインターネットバンキングを実施しており、その点ではかなりメリットがありました。施設や日常生活費を対面でなく渡すことができ、法人後見を実施している他の法人でも今後の利用を検討し始めているそうです。インターネットバンキングは不正アクセスによる事件も起きていますが、ワンタイムパスワードを利用して不正防止を図っており、急な通院等による支出にも即応できるなど、事務負担軽減だけではない利点があります。

3. 身上保護について

毎月行っている被後見人との面会については、利用している各施設の対応に合わせて基本的には面会を控え、電話や携帯のビデオ通話を利用したり、施設職員に現況を確認したりと工夫しながら状況の把握に努めました。

ただし、緊急の場合や一人暮らしをしている方など、一人ひとりの状況に合わせて感染防止対策をし、事務所に一報を入れて訪問先や用件を明確にして実施しました。

現在は基本的にコロナ前の対応に戻していますが、神奈川県での感染のリスクはまだ高いと言わざるを得ず、各種感染対策を実施しながら成年後見活動を実施しています。

(今の所、後見人や被後見人、関係施設にはコロナウイルス感染者は確認されていません)

成年後見部会代表 勝田 俊一

9月上旬より成年後見部会の電話番号、FAX番号が変わります！

電話番号 0463-20-9170

FAX番号 0463-20-9137



児童コミュニティクラブだより



残暑の厳しい毎日です。今夏はコロナウイルス感染症対策に気を付けると同時に熱中症対策にも気を配る日々ですが児童コミュニティクラブの子ども達は元気な毎日を送っております。8月1日から8月22日までの少し短い夏休みです。例年通りの行事はできませんが一日を楽しく過ごせるように支援員はできる範囲で笑顔が見られる内容を考え実施しています。8月24日からは新学期のスタート。子ども達が元気に迎えられようとして支援員一同努めて参ります。

4児コミ代表 安武 敬子



夏祭りの説明を聞きます。



ラムネ、自分であけられるかな？



どれにしようかな・・・

コロナウイルス感染症対策をして夏まつりを実施しました。ヨーヨーすくい、紐引き、射的などをして楽しい時間を過ごしました。



ソーシャルディスタンス座って順番待ちです。



4年生がお手伝いしました。



射的当たるかな？





頑張りました！



学習タイムです。
頑張っています。



子ども達は日々、考え工夫をして遊んでいます。
そんな日々の生活の一コマです。
子ども達の笑顔が素敵です。



昼食、おやつ時の様子です。
このスタイルに子ども達も
慣れました。



プラ板制作、レゴブロック等で
自由に遊びます。



楽しんで生きる

私は、今から5年前に突然脳梗塞を発症し、救急搬送されました。

一度はかなり危険な状態に陥ったものの、幸いにも一命をとりとめることができました。

その後遺症により、車いすでの生活となり、重度障害1級の認定を受けました。病院で一定のリハビリを経た後、在宅生活となり、公的サービスを受けながら通所リハビリとデイサービス通所を繰り返す毎日となりました。



現実に地域社会へ戻ってみると「バリアフリーの世の中」「ノーマライゼーションの社会」というにはほど遠い現実を幾度となく直面しました。こうした経験を繰り返していくと「生きていることが辛い」という思いが芽生えてくるものです。

このような私ですが幸いにも本会から御声掛けをいただき、本年6月より本会の理事の末席に加えていただくこととなりました。私のように障がいやハンデを抱える方々も多かれ少なかれ、私と同じような思いをされた方もいらっしゃると思います。

ご縁あって本会に加えていただき、専門的な知識も乏しい私にお役に立てることは微々たるものだと思いますが、実体験に基づく「当事者目線」からの提案や発信ができればと考えております。よろしくご指導のほどお願いいたします。

理事 山口 知英



◆ 寄付金申し込み ◇銀行振込・ゆうちょ銀行◇

横浜銀行 伊勢原支店 普通預金

口座番号：6116229

口座名義：特定非営利活動法人地域福祉を考える会

■振込手数料がかかります。

ゆうちょ銀行（赤い払込取扱票をご利用下さい）

口座番号：00240-6-105549

口座名義：特定非営利活動法人地域福祉を考える会

■払込手数料はかかりません。

◆ 寄付者情報の公開について

寄せられたご寄付は、感謝の意を表し、ご氏名および金額をニュースレター、ホームページにて公開させていただきます。公表を希望されない方は匿名とさせていただきます。

子育てひろば「きらきら」



小さなお子さんをお持ちの方、これからママになる方、お気軽にお立ち寄りください

◆活動場所：シティプラザ1階

ふれあいホール

◆時間：午前10時～12時

◆参加費：一組100円 予約は不要

・出入り自由です。どなたでも参加できます。



◆開催日（9月～11月）◆

	火	火	火	火
9月	1 🖐️	8 休	15☆	29
10月	6 🖐️	13 ○	20☆	27 休
11月	10 休	17	24☆	

🖐️ 月初めの日には手形づくりの日、○ ヨガ体操
 ☆ お話会 ◇ 9/8, 10/27, 11/10 休



☆ ヨガ体操
 (ソーシャルディスタンスを守りながら)



6/23 新型コロナウイルス感染予防のための対策・・・
 検温・ベビーカー消毒・受付フェイスシールドをつけて
 会場は密にならないようにして始めました。



上手な子どものしつけ方

5つのポイント その1で紹介

公共の場でのマナーや礼儀作法など、お子さまのためにも必要な「しつけ」。小さなうちから身につけてほしいものの、幼いからこそなかなか理解してもらえなかったり、身につけなかったりすると、イライラしてしまうというのは子育て中ではあるかもしれません。そこで、親子でイライラしたり、大きな声で叱ったりしないですむ、しつけのコツをご紹介します。

「～しなさい」ではなく「～しようね！」

お子さまにとって社会のルールは未知なもの。周りの大人の真似をしながら、少しずつ社会性を身につけていきます。では、真っ白な状態のお子さまに対して上手にしつけをするにはどうすればいいのでしょうか。

まず心がけたいのは、「～しなさい」ではなく「～しようね！」に語尾を変えてみることです。どのような状況でも、大人がいきなり「～しなさい」と命令口調で言うとお子さまは戸惑ってしまいます。中には、反抗的になるお子さまも出てくるでしょう。大人でもいきなり頭ごなしに「～しなさい」と言われるとイヤな気分になるのではないのでしょうか。しつけをするときは、その理由をきちんと納得できるように説明し、「～しようね！」と提案することが大切です。そうすることで、「自分で頑張った」という自主性をお子さまが感じるようになるでしょう。

(ベネッセ教育情報サイト抜粋)

次号続く

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を休止していましたが6月から3密(密閉・密集・密接)に配慮しながら再開をいたしています。



★子ども食堂 天(sora)キッチン★

日時：・ 9月14日(日) 午前11時～
・ 10月11日(日) 午前11時～

場所：創作料理「天 sora」
臨時市営駐車場前

定員：12名(小3年～高校生まで)



友愛電話ボランティアと週1回
電話でお話してみませんか?

こちらから電話をおかけします。
料金はかかりません。



電話日 月曜日 午前(10:00～12:00)
月曜日 午後(13:00～15:00)
木曜日 午後(13:30～15:30)

目的 あなたの元気を確認致します。

申込み (社福)伊勢原市社会福祉協議会
0463-94-9600
「友愛電話申込み」とお伝えください。

◆未来セミナー読書会&研修会◆

8月8日午後3時から、まずは「新型コロナウイルス感染症」高齢者として気をつけたいポイント等の話があり端山新理事長の先導で宮崎武雄著「相模大山今昔史跡巡り」参加者14名で本を通して大山散歩を楽しみました。



けんこうをつなぐうたごえ



- 開催：8/29・9/19・10/31・11/21(土曜日)
- 場所：シティプラザ1階ふれあいホール
- 指導：古川 恵子さん ●時間：10:30～12:00
- 参加費：300円 (お茶・飴の用意してあります)

こども支援へ食材・物品

4月～8月のご提供者様(敬称略)

木内めぐみ(沼目) 笹原勉、大久保里子(板戸)、渡辺勲(桜台)、熊田秋男・米倉力・稲垣圭介(高森)、関根てる子(三ノ宮)、野崎千枝子・桜の家福祉農園(岡崎)、前田国光(上粕屋)、伊勢原まごころクリニック、伊勢原市社協 善意銀行(伊勢原) 日本たばこ産業(株)(横浜)、ユーコープフードバンク(飯山)、匿名2件(市内)、(株)御稲プライマル(福島)

◇いせはらみらい・クルリン子ども食堂の活動未定。もう少し待っていてネ◇



ありがとうございます

ご寄附者名簿(敬称略)

R2年6月1日～R2年8月15日

天sora 14,546円	櫻井志保 5,200円	米倉力 55,000円	嶋村直代 5,000円
日本たばこ産業(株) 100,000円	植木勝恵 5,000円	笹原勉 10,000円	
木村勝子 3,000円	佐藤勝守 10,000円	ナチュラルトリートメント 5,000円	
前場寿江 10,000円	K・K 20,000円	三光工業(株) 10,000円	山口知英 5,000円
パブピ 興嶋加奈 29,622円	野田由美 5,000円	前田敏秀 5,000円	
吉川肉店 10,000円	船橋茂紀 30,000円	船橋哲 10,000円	
匿名(6件) 45,800円	合計 393,168円	令和2年度累計 686,868円	
賛助会費 櫻井志保 5,000円			

ありがとうございます